

高齢者住宅バリアフリー化工事 ご利用の手引き

刈谷市

令和4年4月

自宅で暮らす高齢者が、自立した生活を維持し、介護が必要な状態とならないようにするために小規模なバリアフリー化工事をした場合、補助金の交付を受けることができます。

1 高齢者住宅バリアフリー化工事費補助を受けられる人

下記のいずれにも該当する人です。

- ・65歳以上の高齢者で要支援・要介護認定を受けていない人。
- ・基本チェックリストにおいて、運動機能の低下等一定の基準に該当し、住宅改修が必要と認められる人。

(介護保険で住宅改修を行ったことがある人、介護保険料の滞納がある人は除きます。)

2 バリアフリー化工事ができる住宅

住民登録された住所地に所在する住宅

3 補助の対象となるバリアフリー化工事の種類

下記の改修工事（新築・増築の工事は対象外）

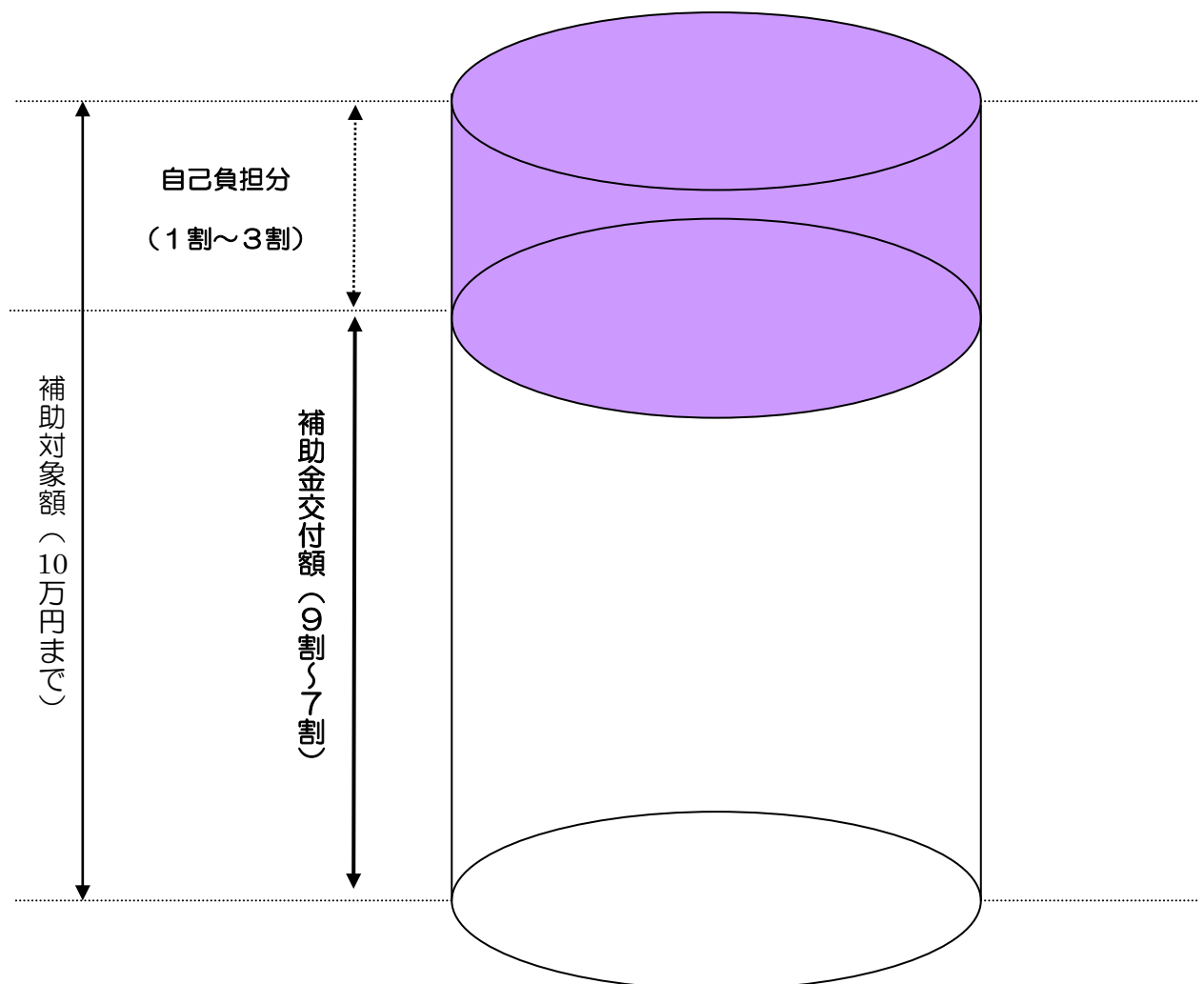
	工 事 種 別	内 容
(1)	手すりの取付け	転倒の予防や移動をスムーズに行うために取り付けるものです。 なお、取付けに工事を伴わない手すりはバリアフリー化工事の対象とはなりません。
(2)	段差の解消	具体的には、敷居を低くしたり、スロープを設置したり、床をかさ上げしたりするもの等があげられます。 なお、取付けに工事を伴わないスロープやすのこ等の設置や、昇降機等動力による段差解消機器の設置はバリアフリー化工事の対象とはなりません。
(3)	滑りの防止及び移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更	具体的には、畳・タイル等滑りやすい材質からフローリング・ビニル系材等滑りにくい材質への変更等があげられます。 なお、取付けに工事を伴わないものはバリアフリー化工事の対象とはなりません。
(4)	引き戸等への扉の取替え	開き戸を引き戸、折戸、アコーディオンカーテン等に取り替えるといった取替えのほか、扉の撤去、ドアノブの変更、戸車の設置等も補助の対象となります。
(5)	洋式便器等への便器の取替え	和式便器を洋式便器に取り替える工事が対象となります。 なお、腰掛便座の設置はバリアフリー化工事の対象とはなりません。

(6)	その他(1)から(5)の工事に付帯して必要となる工事	①手すりの取付けのための壁の下地補強 ②浴室の床の段差解消(浴室の床のかさ上げ)に伴う給排水設備工事、スロープの設置に伴う転落や脱輪防止を目的とする柵や立ち上がりの設置 ③床材の変更のための下地の補修や根太の補強 ④扉の取替えに伴う壁又は柱の改修工事 ⑤便器の取替えに伴う給排水設備工事(水洗化又は簡易水洗化工事を除く)や床材の変更
-----	----------------------------	--

4 補助金の交付額

工事にかかった費用10万円までについて補助金の申請をすることができます。そのうち介護保険の負担割合に応じた1～3割を利用者が負担し、補助金として7～9割が交付されます。ただし、補助を受けられるのは1人1回までです。
※領収日時点の負担割合が適用されます。負担割合については、刈谷市高齢者住宅バリアフリー化工事承認決定通知書に記載します。

[イメージ図]



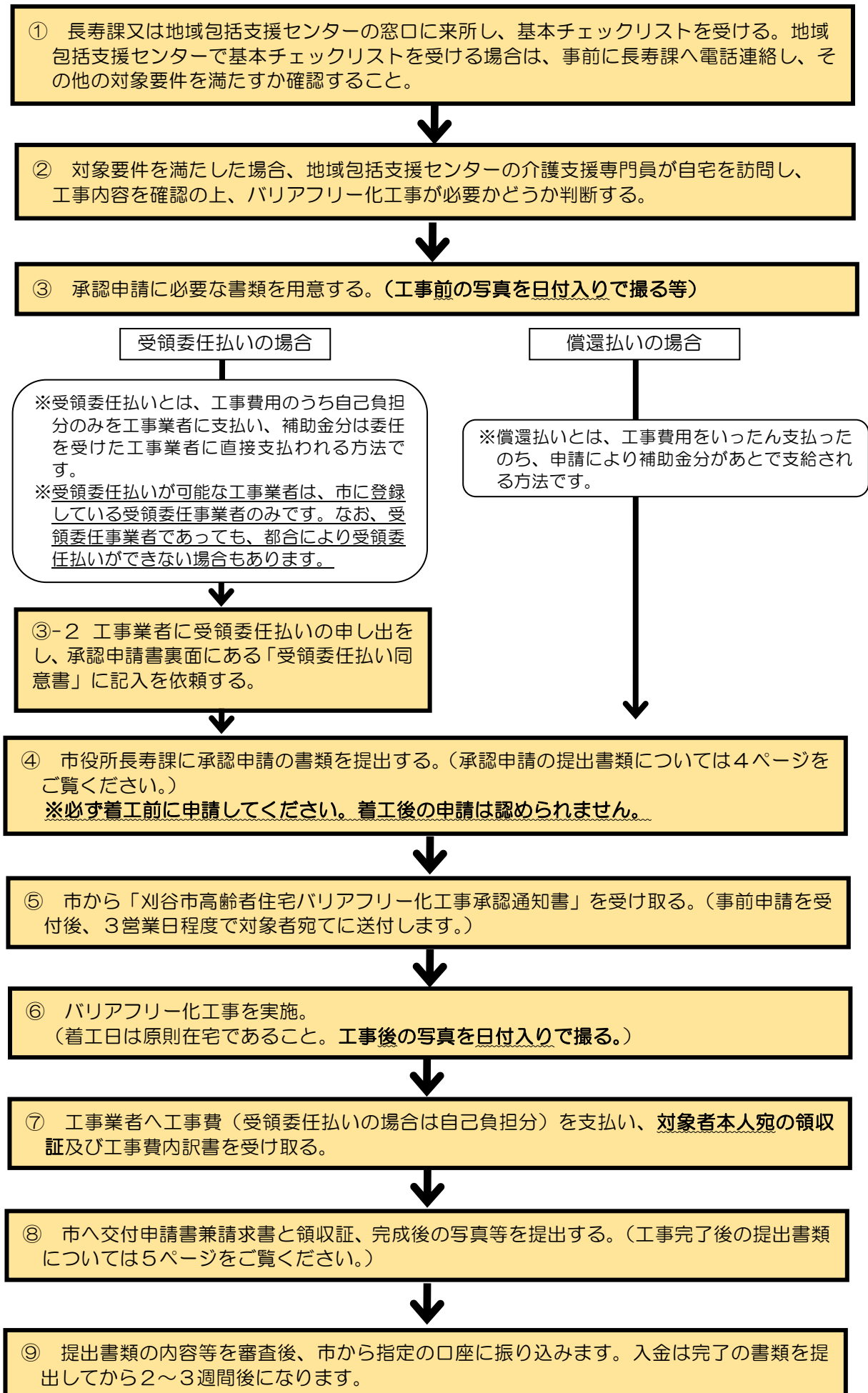
例1. 1割負担の方が、5万円の工事を行った場合

4万5千円は補助金交付。5千円は自己負担。

例2. 3割負担の方が、12万円の工事を行った場合

7万円は補助金交付。5万円は自己負担。

5 バリアフリー化工事の実施方法



6 承認申請（着工前）に必要な書類

	提出書類	留意事項
1	刈谷市高齢者住宅バリアフリー化工事承認申請書	①着工前に申請すること。
	（受領委任払い制度を利用する場合） （申請書裏面） 受領委任払い同意書	①受領委任払いが可能な工事業者は、市に登録している受領委任事業者のみ。工事業者が受領委任払いに同意する場合、受領委任払いが可能となる。 ②承認申請前に工業者に申し出をすること。
2	基本チェックリスト	①様式は長寿課又は地域包括支援センター窓口にあります。 ②承認申請日の1ヶ月前までに本人が受けたものを添付すること。 ③原則として原本だが、原本を事業対象者用として提出した場合は写しでも可。
3	高齢者住宅バリアフリー化工事が必要な理由書	居住地区の地域包括支援センターの介護支援専門員が申請者の心身の状態や住宅の状況を調査し、住宅改修の必要性を判断した上で作成すること。
4	工事費見積書	①工賃と材料費を適切に区分すること。 ②材料費については、材質・サイズなどの規格や数量・単価など可能な限り詳細を記載すること。既製品を利用する場合は、必ず「定価が記載されたカタログのコピー」を添付すること。 ③バリアフリー化工事の種類を明記すること。 ④諸経費の記載はできる限り避けること。 ⑤写真と照合できるよう表示すること。 ⑥「図面」等を添付すること。
5	工事前の写真	①「日付入りのカラー写真」であること。 （カメラに日付機能がない場合は黒板・紙等を利用して写真の中に日付を入れること。） ②工事予定箇所全ての写真を提出すること。 ※工事見積書にある写真等番号と揃えてください。 （工事箇所ごとに工事予定部分全体が確認できること。また、段差解消工事の場合は、段差の高さが分かるようにして下さい。）
6	（賃貸住宅の工事の場合） 所有者の承諾書	①賃貸住宅でなくても、工事にあたって所有者の承諾を必要とする場合は添付すること。 ②事前に住宅の所有者に承諾を得てから工事すること。

7 交付申請兼実績報告（工事完了後）に必要な書類

	提出書類	留意事項
1	刈谷市高齢者バリアフリー化工事費補助金交付申請書兼請求書	<p>①口座は原則対象者本人の口座であること。 （受領委任払いの場合は工事業者の口座であること。）</p> <p>②承認申請日、承認決定日、着工日、完成日を記載すること。</p> <p>③申請額の計算方法（例：1割負担の場合） [申請額]=[対象額]×0.9（1円未満切捨）</p>
2	（償還払いで、請求書の口座を対象者本人以外の口座にする場合） 委任状	<p>①受領委任払いの場合、委任状は不要。</p> <p>②償還払いで、請求書の口座を対象者本人以外の口座にする場合は、委任状が必要。ただし、対象者本人が死亡している場合は不要。</p>
3	領収証	<p>①宛名は対象者本人であること。</p> <p>②印紙が適切に添付してあること。</p> <p>③コピー不可。原本を提出すること。</p> <p>④受領委任払いの場合は、自己負担分の額であること。</p>
4	工事費内訳書	<p>①工賃と材料費を適切に区分すること。</p> <p>②バリアフリー化工事の種類を明記すること。</p> <p>③諸経費の記載はできる限り避けること。</p> <p>④写真と照合できるように表示すること。</p> <p>⑤工事費見積書での代用は不可とする。</p> <p>※申請時の見積書に記載のない工事は認められません。また、申請時の見積書に記載した材料より高額な材料を使用した工事も認められません。</p>
5	工事後の写真	<p>①日付入りのカラー写真であること。 （カメラに日付機能がない場合は黒板・紙等を利用して写真の中に日付を入れること。）</p> <p>②工事箇所全ての写真を提出すること。 ※工事内訳書にある写真等番号と揃えてください。 （箇所ごとに工事した部分全体が確認できること。また、段差解消工事の場合は、段差の高さが分かるようにして下さい。）</p> <p>③工事前後を対比できるような写真であること。</p> <p>【ポイント】</p> <p>①同方向から写真を撮る。</p> <p>②1枚に入りきらない場合は複数枚にわたってもよい。</p> <p>③使用した材料を判別できるように写真を撮る。</p> <p>④目印になるものを入れて写真を撮る。</p> <p>⑤台紙等に貼って工事箇所を記載する。</p>

申請書等記入例

刈谷市高齢者住宅バリアフリー化工事承認申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

刈谷市長

申請者 住 所 刈谷市東陽町〇丁目〇番地
氏 名 刈谷 太郎

※自署または記名押印してください。

電話番号 (0566) 22-XXXX

下記のとおり申請します。

なお、対象者の負担割合の確認のため、市が対象者の属する世帯の世帯員の所得状況等を調査することに同意します。

記

対象者	フリガナ	カリヤ タロウ	
	氏 名	刈谷 太郎	
	住 所	刈谷市東陽町〇丁目〇番地	
	生 年 月 日	昭和15年6月1日	
住宅所有者の氏名		刈谷 一郎（長男）	
対象	要する経費の額	78,540円 工事全体の税込金額を記入。	
	工 事 の 概 要 (内容、施工箇所、規模等)	手すり取付 …廊下2カ所、寝室・浴室各1カ所	
	着 工 予 定 日	〇〇年〇〇月〇〇日	
工 事	施 工 業 者	名 称	株式会社〇〇建設
		担 当 者 氏 名	愛知 三郎
		連 絡 先	(0566) 21-XXXX

- 備考 1 この申請書に基本チェックリスト、高齢者バリアフリー化工事が必要な理由書、見積書、工事前の写真及び平面図等を添付してください。
- 2 住宅の所有者が申請者でない場合は、所有者の承諾書も併せて添付してください。

受領方法（いずれかに〇を付けてください）

<input checked="" type="radio"/> 受領委任払い <input type="radio"/> 償還払い
--

受領委任払いの場合は、裏面の「受領委任払い同意書」に記入・押印してください。



受領委任払いの場合は、この「受領委任払い
同意書」に記入してください。
償還払いの場合は不要です。

(裏面)

受領委任払い同意書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

申請者 住 所 刈谷市東陽町〇丁目〇番地

氏 名 刈 谷 太 郎

自署または記名押印

※自署または記名押印してください。

電話番号 (0566) 22-XXXX

この申請に係る介護給付費等の受領に関する権限を下記の事業者に委任します。

上記申請者に係る介護給付費等の受領について同意します。

なお、介護給付費等は、請求書類に記載の口座に振り込んでください。

受領委任登録番号 〇〇

所 在 地 刈谷市御幸町〇丁目〇番地

事 業 者 株式会社〇〇建設

代 表 者 代表取締役 三河 四郎

※自署または記名押印してください。

電話番号 (0566) 21-XXXX

高齢者住宅バリアフリー化工事が必要な理由書

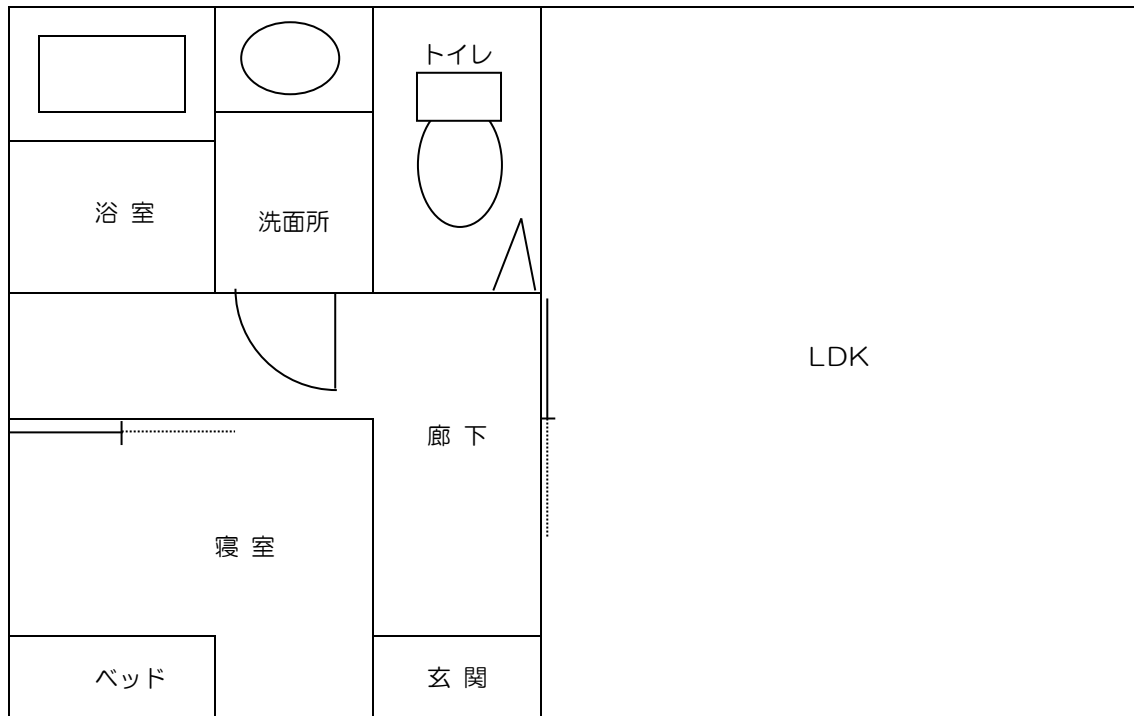
対象者	氏名	刈谷 太郎			現地確認日	○年○月○日	理由書作成日	○年○月×日
	住所	刈谷市東陽町○丁目○番地			作成者氏名	長寿花子 (介護支援専門員登録番号11111111号)		
	生年月日	昭和15年6月1日	年齢	○○歳	所属事業所名	○○地域包括支援センター	所属事業所の電話番号	0566-23-XXXX

6

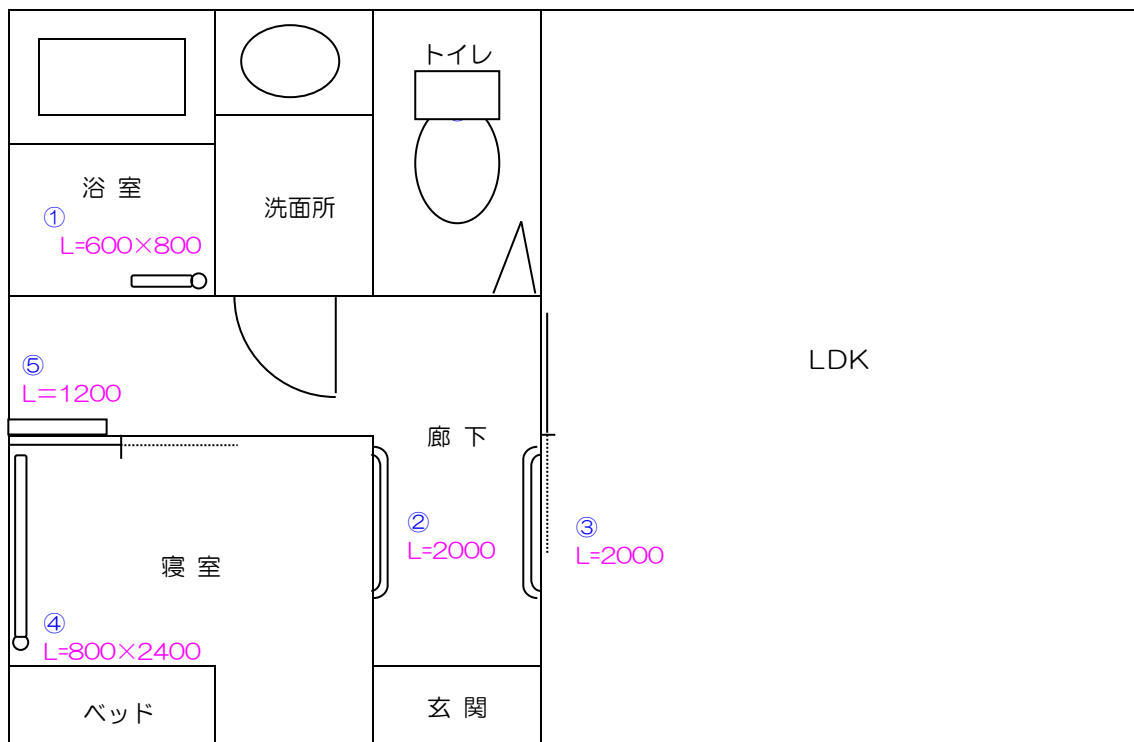
区分	①改善をしようとしている生活動作	②改修の目的及び改修後に期待する効果	③必要な改修内容
排泄	<input type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 便器からの立ち座り (移乗を含む。) <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄時の姿勢保持 <input type="checkbox"/> 後始末 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする。 <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介助者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 手すりの取付け (トイレ内) (浴室内) (玄関) () <input type="checkbox"/> 段差の解消 () () ()
入浴	<input type="checkbox"/> 浴室までの移動 <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む。) <input type="checkbox"/> 浴室内での移動 (立ち座りを含む。) <input type="checkbox"/> 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 浴槽の出入 (立ち座りを含む。) <input type="checkbox"/> 浴槽内での姿勢保持 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする。 <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介助者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 引き戸等への扉の取替え () () <input type="checkbox"/> 便器の取替え () () <input type="checkbox"/> 滑り防止等のための床材の変更 () ()
外出	<input type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input checked="" type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input checked="" type="checkbox"/> 履物の着脱 <input type="checkbox"/> 出入口の出入 (扉の開閉を含む。) <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外活動 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする。 <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介助者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> その他 () () ()
その他の活動		<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする。 <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介助者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	

図面サンプル

(1) 工事前



(2) 工事後



写真貼付用紙

※工事見積書の「写真等番号」に揃えること

被保険者氏名	刈谷 太郎	被保険者番号	0000011111	写真No.	①
住 所	刈谷市東陽町〇丁目〇番地				
改修箇所	居 間	対象工事種別	段差解消		
改 修 前		撮 影 日	〇〇年〇〇月〇〇日		

【写真撮影時のチェックポイント】

- 日付が入っていますか？
- 改修前の部分が全て確認できますか？
- 手すり…手すり取付予定部分が全て揃っていますか？
- 段差解消…段差があることが確認できますか？
- 床材変更…床・通路が移動しにくいことが確認できますか？
- 扉変更…扉が開き戸等であることが確認できますか？
- 便器変更…改修が必要な便器が確認できますか？
- 付帯工事…付帯工事の必要箇所が確認できますか？



※写真は、それぞれ日付が入ったものとし、日付機能のないカメラの場合は、黒板等に日付を記入し、撮影してください。

刈谷市高齢者住宅バリアフリー化工事費補助金交付申請書兼請求書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

刈谷市長

申請者 住 所...刈谷市東陽町〇丁目〇番地
氏 名.....刈 谷 太 郎.....

下記のとおり申請します。

なお、交付が決定されたときは、補助金を請求しますので、下記の口座に振り込んでください。

記

承認申請日	〇〇年〇〇月〇〇日	承認決定日	〇〇年〇〇月〇〇日
着工日	〇〇年〇〇月〇〇日	完成日	〇〇年〇〇月〇〇日
申請額 (補助金の額)	70,686 円 (補助対象額×補助割合〔小数点以下切捨〕)		
金額に関する訂正がある場合は、請求書を作り直してください。 例) 自己負担1割・補助割合9割、補助対象額78,540円の場合 $78,540円 \times 0.9 = 70,686円$			

振込先口座

金融機関名	支店等名	預金種別	口座番号						
刈谷信用金庫	東陽支店	<input checked="" type="checkbox"/> 普通座 <input type="checkbox"/> 当座	8	7	6	5	4	3	2
フリガナ	カリヤ タロウ								
口座名義人	刈 谷 太 郎								

原則、対象者本人の口座になります。ただし、受領委任払いの場合は、工事業者の口座を記入してください。

備考 この申請書に領収証、工事費内訳書及び工事後の写真等を添付してください。

領収証サンプル

受領委任払いの場合は工事費用から補助金額を差し引いた額を記入して下さい。

領 収 証		No. 12345	
刈 谷 太 郎 様			
金 額	¥	7	8 5 4 0
			印 紙
但、バリアフリー化工事(手すり・段差解消) 〇〇年〇〇月〇〇日 上記正に領収いたしました。			
内 訳	〒448-0821		
税抜金額	71,400	刈谷市御幸町〇丁目〇番地	
消費税額等(10%)	7,140	株式会社 ○○建設	
代表取締役 三河 四郎			

*工事費内訳書の記入例は、P10を参考にしてください。

写真貼付用紙

被保険者氏名	刈谷 太郎	被保険者番号	0000011111	写真No.	①
住 所	刈谷市東陽町〇丁目〇番地				
改修箇所	居 間	対象工事種別	段差解消		
	改 修 後	撮 影 日	〇〇年〇〇月〇〇日		

【写真撮影時のチェックポイント】

- 日付が入っていますか？
- 改修前の部分が全て確認できますか？
- 手すり…手すり取付予定部分が全て揃っていますか？
- 段差解消…段差があることが確認できますか？
- 床材変更…床・通路が移動しにくいことが確認できますか？
- 扉変更…扉が開き戸等であることが確認できますか？
- 便器変更…改修が必要な便器が確認できますか？
- 付帯工事…付帯工事の必要箇所が確認できますか？



写真は、それぞれ日付が入ったものとして。日付機能のないカメラの場合は、黒板等に日付を記入し、撮影してください。